

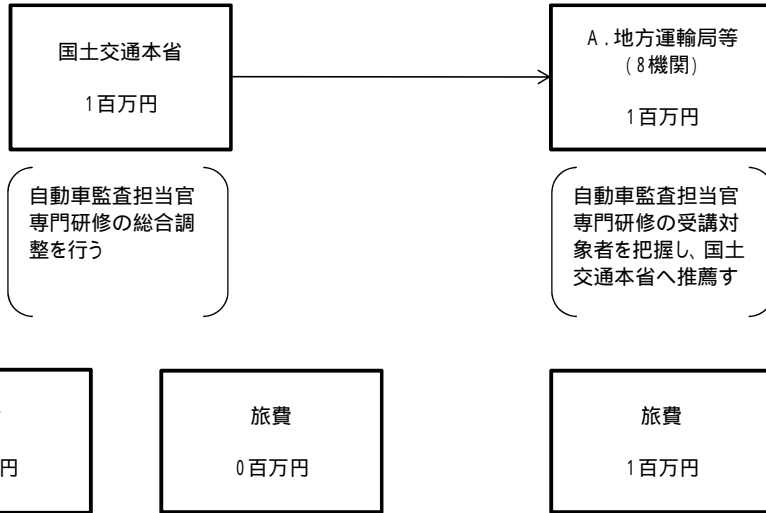
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	自動車監査担当官専門研修の実施		<b>担当部局</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度		<b>担当課室</b>	安全政策課		課長 三上 哲史	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5(14)公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	自動車運送事業者に対する監査担当官は、関係法令に精通することはもとより、当該運送事業者の運営実態を見極め、的確に法令違反を指摘することが求められる。また、規制緩和等を踏まえ、事後チェック機能の強化として法令遵守状況を厳しく監視・指導すべきこととされており、監査件数も大幅に増加していることから、監査担当官の資質の向上並びに監査の均質化及び効率化を図ることを目的とする。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	各地方運輸局等において自動車監査業務に関して基礎的な知識を有する者を対象に、高度な監査能力の習得を図るため、最新の関係法令知識、行政手続法の解説及び最近の行政不服審査請求等の講義の他、法令違反の隠蔽等の各地方運輸局及び運輸支局における悪質な監査・処分事案についての実施・対処方法を討議し、同類事案等に対する適切な対応を目的とした事例研究を実施している。						
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	1	2	2	2	1
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	1	2	2	2	1
	執行額	1	2	1	-	-	
	執行率(%)	138.9%	80.9%	61.2%	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年	21年	22年	目標値(25年)
	事業用自動車第1当事者の交通事故における死者数 事業用自動車第1当事者の交通事故における人身事故件数 事業用自動車による飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数 初期値: 513人(20年)、56,295人(20年)、287人(20年)	成果実績	人	513 56,295 287	468 51,510 207	490 51,061 177	380 43,000 0
		達成度	%	0 0 0	34 36 28	17 39 38	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自動車監査担当官専門研修実施回数		活動実績(当初見込み) 回	1 (1)	1 (1)	1 (1)	(1)
<b>単位当たりコスト</b>	1(百万円/回)		算出根拠	H22年度自動車監査担当官専門研修経費(1百万円)/H22年度研修実施回数(1回)			
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.10	0.10				
	職員旅費	1	1				
	委員等旅費	0.02	0.01				
	計	2	1				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】  事業の目的を実現する観点から、平成22年度においては、事例研究に多くの時間を設け、適切な監査の実施・処分について分析するカリキュラムを充実させたところ。今後においても、的確な監査業務を実施するため、さらに充実したカリキュラムの検討を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		より効果的なカリキュラムがないか検討し、より実効性のある研修内容に見直しを図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
効果的な研修を行うためカリキュラムの検証等を行う。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.北海道運輸局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	研修旅費	0.510			
計		0.510	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.地方運輸局等(8機関)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道運輸局	自動車監査担当官専門研修の受講対象者を把握し、国土交通本省へ推薦する	0.510	-	-
2	九州運輸局	"	0.163	-	-
3	中国運輸局	"	0.121	-	-
4	近畿運輸局	"	0.113	-	-
5	東北運輸局	"	0.068	-	-
6	北陸信越運輸局	"	0.057	-	-
7	神戸運輸監理部	"	0.036	-	-
8	関東運輸局	"	0.032	-	-
9					
10					